

ACCロケーターコンテスト 2026

インターナショナル アワード チェンサーズ クラブ (ACC) 1 エリア支部主催(10-4-139)

目的 430MHz帯の活性化、グリッドロケーター(以下 GL と略)の普及。

- ・ 2016 年からマルチプライヤーが変更になりましたのでご注意ください。
- ・ 2019 年から運用周波数が拡大しましたので色々なモードで参加できます。

期間 2026年6月22日(月)00:00～28日(日)23:59 6月父の日の翌月曜日から一週間
(7日間)のマラソンコンテスト

参加資格 国内アマチュア個人局、社団局はACC各支部所属社団局 (JN1YMP, JN1ZGI, JI2YZV) および本部社団局(JE4YOL)「以下ACCクラブ局と略す」のみとし、これらのACCクラブ局は得点サービスの運用を行う。一般社団局(クラブ局)は除く

周波数 430MHz帯 [モードは全て、種目は設けない]

参加部門 メンバー部門・一般部門

呼出方法 [電信]CQ ACC TEST [電話] CQ ACCコンテスト

コンテストナンバー RS(T)レポート (+ACCメンバーはM) +GL(6桁)

データ、画像、ATV等は、電話や電信に準じる。FT8とFT4での交信例は最終ページを参照。

注意

- ・ 日が違えば運用地の変更可、ログに市郡区町村ナンバー あるいは市郡区町村名等を記入
- ・ ロールコール中の交信も有効
- ・ 日が違えばACCクラブ局と重複交信可

禁止事項

- ・ 呼出周波数における 呼出・交信
- ・ 2波以上の同時電波発射
- ・ レピーターの使用
- ・ 上記のACCクラブ局を除き、同一局との重複交信 (モードにかかわらず)
- ・ 一般社団局(クラブ局)との交信は無効、ログへの記載不可
- ・ ACCメンバー局の一般局としての参加

得点

- ・ ACCクラブ局との交信で GL (6桁) の交換あり 5点
- ・ ACCメンバー局との交信で GL(6桁) の交換あり 3点
- ・ 一般局との交信で GL(6桁)の交換あり 2点
- ・ 一般局及びメンバー局との交信で GL(6桁)の交換なし 1点

マルチプライヤー 運用日数 (最大7マルチ) ×異なる GL (6桁) の数

総得点 得点合計×マルチプライヤー

チェックリスト 交信局数 100局以上はチェックリストを提出する。

失格事項

- ・ 提出書類の不備(文字判読困難な書類など)
- ・ 虚偽の報告
- ・ チェックリストなし

審査 提出されたログ内容を事務局にて審査し、前記禁止事項に抵触する書類は失格。

上位入賞者に対して疑問点があれば確認作業を行い、前記禁止事項に該当すれば失格とする。

入賞 メンバー部門と一般部門それぞれ 1位、2位、3位の入賞局に賞状を贈る。

同得点の順位は最終交信の日時間が早い局を上位とする。

参加賞 ログ提出時に SASE(110円切手を貼った長型 4号封筒に住所氏名、郵便番号を記したものを同封した局に送付する。

書類 JARL形式のサマリーシート・ログシート(A4版)または同等のものに、必要事項を記入して郵送する。

また、メール添付での提出は、下記の形式のみを受け付ける。

JARLログファイル (csv)

JARL電子ログシート

EXCELファイル

書類提出 締切 **7月28日(必着)**

提出先 〒206-0001 東京都多摩市和田157-1-503

ACC#2372 7L3IUE 多田良平

問合せ先 SASEまたは acc2372-7l3iue@rainbow.dti.ne.jp (@を半角にして下さい)

結果発表 ACCBT9月号と ACC HP ほか掲載予定

コンテスト用ロギングソフト CTESTWIN(4.33以降)に対応していただきました。

ただし、以下の制約があります。ユーザー定義ファイル(ACC.md)は ACCのHP (<https://www.jarl.com/acc/ctestaccinfo.html>)よりダウンロードしてご利用下さい。

1. 取得したマルチ(6桁のGL)は、「表示」「取得済みマルチのみ表示」で表示できます。但し、この画面は、自動的に開きませんのでCTESTWIN起動ごとに指定が必要です。
2. 日が違えばACCクラブ局と重複交信可であるため、「設定」「各種設定」の「入力」タブで、「重複局(dupe)も記録する」のチェックを入れてください。
更に「dupe局running時のみ記録(S&PはCall消去)」のチェックは外してください。
3. 電子ログは、「ファイル出力」「JARL電子ログシート出力」「JARL推奨旧フォーマット(R1.0)」で作成してください。
「JARL推奨新フォーマット(R2.0)」は、使用しないでください。
参加部門種別コード欄には、何かの英数字を入れてください。(何であっても構いません)
4. 運用日数のマルチプレイヤー対応はできませんので、手動で得点の計算をして、<TOTALSCORE>の訂正をお願いします。
電子ログは、テキストファイルですので、Windows標準搭載のメモ帳等で編集ができます。
5. ACCクラブ局との重複交信は0点となっていますので、日が違うQSOのみ手動でPtsを5点にして、<TOTALSCORE>の訂正をお願いします。
6. ACCクラブ局以外の社団局とのQSOはチェックしていないので、QSOしてしまった場合は、手動でそのQSO行のPtsを0点にして、<TOTALSCORE>を訂正してください。

交信局数 100局以上の例外として、CTESTWINからのJARL電子ログシートの場合は(重複局を自動チェックするので)チェックシートの提出は不要とします。

(参考:FT8 やFT4 による交信方法の一例)

<CQ呼び出し>

「CQACC」を使用

<交換するナンバー>

メンバー局：「RSTなどの信号リポート+M+6桁のGL」がナンバー

一般局：「RSTなどの信号リポート+6桁のGL」がナンバー

<WSJT-Xでの事前設定>

TX5で送出できる『任意メッセージ』を設定する。設定→TXマクロに入る。

- ① IUE局が一般局の場合：IUE PM95RP 73
- ② IUE局がメンバー局の場合：**MPM95RP 73**

<交信例>

JN1YMP：ACCメンバー局（1エリア支部クラブ局です）

7L3IUE：ACCメンバー局ですが、一般局の場合の例としても使用

自動交信（YMP）：CQ **ACC** JN1YMP PM95

自動交信（IUE）：JN1YMP 7L3IUE -08

自動交信（YMP）：7L3IUE JN1YMP R-17

自動交信（IUE）：JN1YMP 7L3IUE RRR¹

▲TX5で任意メッセージを送る際『プルダウン』でメッセージを選びます。

※交信相手が『決まったタイミング』でTX5のプルダウン選択がベスト

- A) 自動交信（IUE）：IUE PM95RP 73 ←IUE局が一般局の場合
 - B) 自動交信（IUE）：**MPM95RP 73** ←IUE局がメンバー局の場合
 - C) 自動交信（YMP）：**MPM95PP 73** ←YMPはACCメンバー局
- 自動交信（YMP）：7L3IUE JN1YMP 73

---以上で交信終了---

この例に限らず、参加局双方で所定のナンバーが交換できていれば、その交信を有効とします。

¹ TX4の送信項目が『RR73』になっているはずですので、このままだとPCがファイナルを送ってしまいます。それを『避けるため』に『TX4』を『ダブルクリック』します。目的は『名前』を『引き続き送出するため』です。TX4の送信項目が『RRR』になれば『OK』です。**『TX4』をダブルクリックすると『RR73』⇔『RRR』の切替ができます。**『RRR』になると、次の『TX5』に送信が移る、という仕組みになっています。